



自然消退する皮膚病

皮膚の病気は、目に見えるため気になるものです。その中には短期間で消失するものや、数ヵ月～数年かけて自然消退するものもあります。症状に不安を感じたら、皮膚科専門医にご相談ください。

新生児・乳児

新生児中毒性紅斑



生後1～3日で30～40%にみられ、数日ないし1～2週間ほどで消失します。

新生児ざ瘡



新生児の数%にみられ、2～3ヵ月で無くなります。

はいりゅうしゅ 稗粒腫



新生児の30～50%にみられ、数週間で消失します。

眉間の青い斑



新生児では皮膚が薄いため、血管が透けて見えます。

小児指趾線維腫症



1歳未満での発症が多く、手術をせずに自然治癒を待ちます。

サモンパッチ



新生児の20～30%にみられ、多くは2歳までに消失します。

蒙古斑



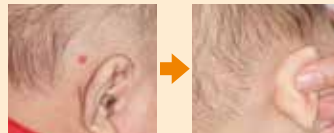
黄色人種のほぼ100%にみられ、多くは4～10歳で消えます。

肛門周囲膿瘍



8ヵ月 男児
排便後、6～15ヶ月で90%が治癒します。

乳児血管腫



2ヵ月 男児
通常2歳頃から退縮が始まり、7歳までに75%が消滅。隆起する場合は治療を考慮します。

肛門垂



11ヵ月 女児
8ヵ月後
硬便による切れ痔が原因です。

肥満細胞症



10ヵ月 女児
小児では数年～十数年で自然治癒します。

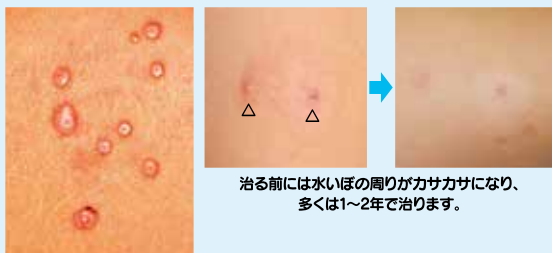
幼児・学童

顔面単純性枇糠疹 (はたけ)



学童の約10%にみられ、日焼けすると目立ちます。

伝染性軟属腫(水いぼ)



治る前には水いぼの周りがカサカサになり、多くは1～2年で治ります。

若年性黄色肉芽腫



2歳 女児

多発することもあります。多くは5～6歳までに消滅します。



4歳

発疹性毳毛嚢腫



11歳 男児

小さな袋の中にうぶ毛がたくさん詰まっています。成人では消えない場合が多い。

成人・高齢者

ケラトアカントーマ



偽癌症のひとつで、癌との区別が難しく手術が第1選択です。

老人性紫斑



ステロイドを塗ると悪化します。

扁平苔癬様角化症



隆起、色調ともに消える場合があります。

いいひふ

11月12日は皮膚の日です